

# ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2008 年 5 月

## ISO/TC61(プラスチック)/SC9(熱可塑性樹脂材料)の最近の動向

### 1. ISO/TC61/SC9 の構成

ISO/TC61/SC9 は、熱可塑性プラスチック関係の規格の制定・改正等を担当し、幹事国はアメリカ(ANSI)である。P メンバー (投票権有す) は 20 カ国、O メンバー(オブザーバ)は 17 カ国で昨年と比較し P メンバーが 1 カ国減少した (カナダが脱会)。WG は、16WG あるが、表 1 のような状況で休止中、コンビナーの空席の WG がある。各 WG のコンビナーは、昨年まで全て欧米により占められていたが、WG21 のコンビナーに日本が立候補(エンプラ技術連合会：横内 満氏)し、承認された。また、空席の WG17 のコンビナーについても日本が引き受けるべき作業中である。

表 1 TC61/SC9 の WG

WG	コンビナー(団体)	タイトル
WG 6	アメリカ(ANSI)	ポリオレフィン
WG 7	空席	スチレン系樹脂
WG 8	オランダ(NEN)	ポリアミド
WG14	ドイツ(DIN)	ポリマーディスパージョン
WG15	ドイツ(DIN)	ポリカーボネート
WG16	休止	セルロースエステル
WG17	空席	熱可塑性ポリエステル
WG18	アメリカ(ANSI)	試験片の作成
WG19	イタリア(UNI)	ポリメチルメタクリレート
WG20	イタリア(UNI)	ポリ塩化ビニル
WG21	日本 (JISC)	ポリオキシメチレン
WG22	アメリカ(ANSI)	ポリテトラフルオロエチレン樹脂及び製品
WG23	ドイツ (DIN)	ポリビニルアルコール系ポリマー及びコポリマー
WG24	オランダ(NEN)	ポリフェニレンエーテル
WG25	空席	ポリケトン
WG26	オランダ (NEN)	熱可塑性エラストマー

なお、国内 SC9 委員会には SC2 (機械的性質) /WG6 (試験片の形状)、SC2/WG8 (データの表記方法) の活動が含まれる。(SC9/WG9C)

ここでは、2007 年 9 月にインド・ゴアで開催された第 56 回 TC61 年次国際会議での主たる規格の制定・改正審議結果及び課題を中心に WG 別に記述する。(規格の名称は一部省略して記載した。) なお、WG7、14、15、19、21、22、23、25 の会議は開催されなかった。

### 2. WG6 (ポリオレフィン)

(1) CD 8986-1:1993 Polybutene—Part 1 (ポリブテン：呼び方及び仕様表記)

CD 8986-2:1995 Polybutene—Part 2 (ポリブテン：試験片及び性質)

ドイツの提案で改正中である。CD 投票より開始されゴア会議で DIS へ進捗することが承認された。日本より、引張速度及び試験片形状の変更反対のコメントを提案したが PL が根拠のデータを次回示すことで拒絶された。

(2) ISO527-1:1993 Determination of tensile properties—Part 1: General principles (引張特性—総則) この規格は SC2 にて現在改正中である。本件に関し、ポリオレフィン材料規格への与える懸念を日本より提言した。コンビナーがこの規格の DIS 投票時考慮すべしとメンバーへ注意喚起した。

### 3. WG8(ポリアミド)

(1) CD 1874-1 Polyamide (PA)—Part2: (ポリアミド：呼び方、仕様) PPA の分類について、日本が反

対提案し、会議で受け入れられ CD2 投票を行うことが議決された。

#### 4. WG17 (アルキレンテレフタレート)

(1) CD 7792-1 Thermoplastic polyester (TP)－part 1 (熱可塑性ポリエステル—呼び方及び仕様)

CD 7792-2 Thermoplastic polyester (TP)－part 2 (同試験片及び性質)

2007 年の定期見直しで、日本が開発した測定法 MVR/MFR をこの規格に導入すべく改正提案 (USA、オランダ) があり、CD より改正されることが議決された。

#### (2) NWIP

日本より、PET ボトル再生材料の規格提案を行い、NWIP 投票が実施されることとなった。

#### 5. WG18 (WG9B) (試験片の作製)

(1) ISO 2818:1994 Preparation of test specimens by machining (機械加工による試験片作製)

定期見直しにより、日本から式の誤記を指摘、正誤表が発行される。

(2) CD 27547-1 Preparation of test specimens using mouldless technologies -- Part 1: General principles, and laser sintering of specimens (レーザシンタリング法による試験片の作製) この規格案は、DIS 投票へ進むことが議決された。

#### 6. WG20 (塩化ビニル樹脂)

(1) WD 4608 polyvinyl chloride--Determination of plasticizer absorption (PVC－可塑剤吸収量)

可塑剤種類の追加 (DINP の追加) のため改正提案があり、NWIP より CD へ進むことが議決された。

(2) CD 23911 Determinations of dark specks by vibrating chute method'(振動シュート法による異物の求め方)

DIS 投票の結果コメントが多く寄せられその修正を行い DIS2 投票が行なわれる予定。

#### 7. WG24 (ポリフェニレンエーテル)

(1) DIS 28941-1 (ISO 15103-1) Poly(phenylene ether) (PPE)－ Part 1 (PPE : 呼び方及び仕様表記)

FDIS 15103-2 :2000－Part 2 (第 2 部 : 試験片の作り方、性質)

日本提案で改正を進めてきた上記規格は、28941-1 が FDIS へ進み、15103-2 は 2007 年に発行された。なお、次の定期見直しで ISO 15103-1 は廃版となり 28941-1 に置き換わる予定である。

(2) DIS 25137-1、-2 (Sulfon plastics 材料規格:USA 提案)の DIS 投票結果を審議し、FDIS 投票へ進むことが議決された。

(3) CD 28078-1、-2 (PPS 材料規格) 日本提案のこの規格の CD 投票の結果を審議し、DIS 投票へ進むことが議決された。

#### 8. WG26 (熱可塑性エラストマー)

(1) NWIP (ポリウレタン系 TPE 材料規格)

ドイツの PL が提示した WD を審議し、修正した WD を回覧後 NWIP 投票へ進むか否かを定める予定である。

#### 9. SC2/WG6&WG8 (SC9/WG9C:試験片の形状&データの表記方法)

(1) FDIS 20753 Plastics－Test specimens (プラスチック—試験片寸法)

DIS2 投票結果により修正された文書で FDIS 投票を行い、2008 年 3 月に発行された。

(以上)